

# 第4期 ふくしま地域産業6次化戦略

## 戦略策定の趣旨

本県では、第1期戦略（平成22～26年度）、第2期戦略（平成27～令和元年度）、第3期戦略（令和2～6年度）を策定。  
本県の豊かな農林水産資源を活用し、地域の多様な主体がそれぞれの強みを生かして取り組む地域産業6次化をより一層推進するため、第4期戦略を策定する。

## 本戦略の期間

上位計画である『福島県農林水産業振興計画』と同様に、令和7年度から令和12年度の6年間

## めざす姿

地域産業6次化をより一層推進し、農林漁業者の安定的な所得と雇用機会の確保、農山漁村の活性化を目指す。

- 6次化実践者については、次の姿を目指す。
- 明確なビジョンに基づいて事業を展開
  - マーケットインの視点による売れる商品を開発
  - 多様な関係者と連携しながら、ストーリー性のある商品を創出し、地域全体が活性化するような取組を実践

## 成果目標

項目	現状→目標
農産物の加工や直売等の年間販売金額	442(R4)→570億円(R12)
農山漁村地域を大切にしたいと思う県民の割合	84.1(R5)→95%(R12)

地域産業6次化の核となる「ひとづくり」、具体的な売上につながる「商品（もの）づくり」とともに、既存の地方ネットワークのみならず、多様な関係者が関わる地域産業6次化を起点とした取組が地域全体の活性化に資するよう「地域づくり」の3つを柱とし、4つの推進方策に取り組む

## ひとづくり

### 1 6次化実践者の定着・成長の推進

- (1) 戦略的な事業展開の促進
- 経営管理のスキルアップ支援
  - 目標の達成に向けた方針や計画策定の支援
- (2) 事業発展のための支援
- 事業発展に関する情報発信
  - 6次産業化支援機関による支援
  - 地域の核となるキーパーソンの養成

### 2 新たな6次化実践者の確保・育成の推進

- (1) 新たな6次化実践者の確保
- 6次化の起業に向けた基礎的な知識・技術等の習得支援
- (2) 取組初期からの支援
- 6次化における取組課題に対する専門家による支援
  - 農林漁業者の企業的な経営感覚の養成
- (3) 食の安全性の確保のための支援
- 適正な食品表示の普及啓発
  - 衛生管理手法の導入促進

## 商品（もの）づくり

### 3 「もうかる」「誇れる」商品開発の推進

- (1) マーケットインの視点と戦略的なブランディングによる商品開発支援
- マーケットインの視点に基づく商品開発の促進
  - 強みを生かしたブランディングの促進
- (2) 商品の安定的な生産・製造のための支援
- 持続的な商品開発等への支援
  - 1次産業と2次産業のマッチング
- (3) 販路拡大支援
- 県オリジナル共通ブランドによる取組や、展示会出展・EC等による販売拡大に向けた支援
  - 商業圏に向けた6次化商品のPR強化
  - 海外販路開拓の支援

## 地域づくり

### 4 地域全体で盛り上げる地域産業6次化の推進

- (1) 地域産業6次化を起点とした地域の活性化
- 福島ならではの地域資源を活用した新しい商品開発の促進
  - 地域の多様な関係者が連携した取組の促進
- (2) 6次化ネットワークの活性化
- 多様な事業者が集う交流の場の創出
  - 6次化ネットワークの活動強化
  - 消費者への地域産業6次化のPR

## 推進組織

### ふくしま地域産業6次化推進連絡会議

関係機関・団体で組織する連絡会議を設置し、事業推進上の課題解決に向けた意見交換を行う。

### 6次化連携支援会議

実務担当者等で構成する会議を設置し、推進に向けた実務レベルの検討を行う。

### ふくしま地域産業6次化ネットワーク

県内6地方にネットワーク組織を設置し、研修会や情報交換による人的交流を活性化。